

JFA第30回 全日本U-15フットサル選手権大会兵庫県大会

要 項

- 1、日 時 2024年 7月27日(土)・28日(日)
 - 2、場 所 高砂市総合体育館(兵庫県高砂市米田町島526番地)
 - 3、主 催 一般社団法人 兵庫県サッカー協会
 - 4、主 管 一般社団法人 兵庫県サッカー協会 フットサル委員会、3種委員会、東播サッカー協会
 - 5、後 援 高砂市教育委員会
 - 6、協 力 株式会社モルテン
 - 7、参加資格
 - ・中学生年代のみにより構成されたチームであること。
 - ・成人の引率者がチームを指導掌握し、責任を負うこと。
 - ・選手はスポーツ傷害保険に必ず加入していること。
- 【フットサルチームの場合】
- ① 日本サッカー協会に、「フットサル3種」または「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル3種チーム」は、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。本項の適用対象となる選手の年齢は、「フットサル4種」年代のみとし、「フットサル3種」およびそれ以上の年代の選手は適応対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2009年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - ④ チームの選手数が8名未満の場合、複数チームによる「合同チーム」の大会参加を、以下の条件により認める。なお、主体となるチームの人数の制限はない。
 - I チームおよびその選手は、それぞれ上記①②を満たしていること。
 - II 合同するチームの選手は、2009年4月2日以降に生まれた選手で、本協会に登録されていること。なお、選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。サッカーチームに所属する選手の合同も認める。
 - III 極端な勝利目的の為の合同チームではないこと。
 - IV 大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上行う。
- 【サッカーチームの場合】
- ① 日本サッカー協会に、「3種」・「4種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「3種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。本項の適用対象となる選手の年齢は、「4種」年代のみとし、「3種」およびそれ以上の年代の選手は適応対象外とする。
 - ① 前項のチームに所属する2009年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ② 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - ③ チームの選手数が8名未満の場合、複数チームによる「合同チーム」の大会参加を、以下の条件により認める。なお、主体となるチームの人数の制限はない。
 - I チームおよびその選手は、それぞれ上記①②を満たしていること。
 - II 合同するチームの選手は、2009年4月2日以降に生まれた選手で、本協

- 会に登録されていること。なお、選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。フットサルチームに所属する選手の合同も認める。
- Ⅲ 極端な勝利目的の為の合同チームではないこと。
- Ⅳ 合同チームとしての参加を当該都道府県サッカー協会フットサル委員長が別途了承すること。
- Ⅴ 大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、行う。

- 8、参加チーム
- ① チームの編成は、役員4名以内、選手20名以内の登録で、内14名内のエントリーとする。(試合ごとのエントリー変更可)
- ② ベンチに入る事ができる人数
- (1) 交代要員の人数 9名以内
- (2) 役員の数 3名以内
- なお、選手は役員を兼務できない。
- (3) 外国籍選手は、ピッチ上2名を超えて同時にプレーすることはできない

*都市協会予選後、県大会でのチーム登録変更は原則として認めない。

- ② 本年度、都市協会のエントリーは下表のとおりとする。

尼崎1、北摂2、西宮1、芦屋1、神戸1、明石2、東播1 北播磨1、姫路1、西播磨1、丹有1、但馬2、淡路1、

*全都市協会1、前年度優勝地区協会1、残り2は過去3年間の地区予選参加数合計によるドント方式により決定する。

なお、都市協会に参加できない場合は、他の都市協会へ振り分けることとする。振り分けは上記ドント方式の続きで決定する。

不参加の都市協会は6月末日までに高山まで連絡ください。

- ③ ブロック分け抽選はフットサル委員会で行う。

9、競技方法

- ① 予選ラウンド(4チーム×4ブロック)を行い各組上位2位チームがノックアウトラウンドに進む。予選ラウンドの順位は、勝ち点(勝3点、引き分け1点、負0点)、対戦成績、得失点差、総得点、抽選の順で決定する。

③ 試合時間

予選ラウンド(10-3-10ランニングタイム)

ノックアウトラウンド

準々決勝 10-5-10 プレイングタイム

代表決定戦 12-5-12 プレイングタイム

*ノックアウトラウンドは、1stピリオド/2ndピリオド各1回・1分間のタイムアウトを取ることができる)

ただし、決勝トーナメント準々決勝で同点の場合はPK方式、

代表決定戦のみ、6分の延長(3分ハーフ)。

なお決しない場合はPK方式を行う。

***決勝戦は行わない。**

- ④ ピッチは、予選リーグ18m×32m程度の大きさとする。
ノックアウトラウンドは、20m×40m程度の大きさとする。

- ④ 大会使用球は、モルテン製フットサル用ボールを使用する。

10、競技規則

- ① 大会実施年度の2024/2025「フットサル競技規則」による。

- ② 予選ラウンドは、GKが投げた、また蹴ったボールが直接ハーフウェイラインを超えた場合は、その超えた場所から相手チームの間接フリーキックとする。

ノックアウトラウンドでは、これを解除する。

11、懲罰

- ① 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合若しくは2試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレイ委員会で決定する。

- ② 本大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
本大会の懲罰は、(公財)日本サッカー協会の懲罰基準に準ずるものとし(一社)兵庫県サッカー協会フットサル委員会で協議の上、最終的には

(一社) 兵庫県サッカー協会規律・フェアプレー委員会で決定する。

- 12、表彰 代表決定戦に勝利したチームおよび3位(2チーム)に表彰状を授与する。
準決勝(代表決定戦)に勝利したチームの第1代表、第2代表は抽選とする。
第1代表、第2代表チームはJFA第30回全日本U15フットサル選手権
関西大会【10月13日(日)和歌山橋本体育館】に出場する義務と権利を有する。
ただし、外国籍選手で構成されたチームが1位、2位となった場合は、
3位又は4位チームが関西大会へ出場する。
※全国大会 2025年1/11(土)~1/13(月祝) 栃木県日環アリーナ栃木

- 13、本大会参加料 1チーム18,000円
(2024年7月10日(水)までに下記口座にお振込みください。

振込先 三井住友銀行 神戸営業部
(普通) 9073270
口座名義 一般社団法人 兵庫県サッカー協会
振込名 事業番号1205 必ずチームの前に事業番号をつけて振込むこと
(例) 1205 HFAフットサルクラブ

- 14、その他
- ①ユニフォームについては、FP、GKともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - ②チームユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ③FPとして試合に登録された選手がGKに変わる場合、その試合でGKが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、且つ、自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ④シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号をつけること。
ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、且つ、判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑤ストッキングを切るときは同色テープで隠すこと。その際もチームで統一されたテープを使用する。また、ソックスも統一すること。
 - ⑥KO時に3名に満たない場合は棄権扱いとする。
試合開始時のメンバー登録でGKは2名登録されていること。但し、パワープレー用 キーパーユニフォームが用意されていればその限りではない。
選手番号は整数で1から99を使用し、0は認めない。
1番はGKの為に用意される。
必ず、大会登録表に記載された選手固有の番号を付ける。また、パワープレーにおいてはGKと同じユニフォームで背番号はプレイヤー固有の番号でなければならない。GKを2名用意するか、パワープレー用ユニフォームが用意されていないチームが怪我以外の理由でGKの退場などがあった場合は、FPが退場されたGKに代わり出場するユニフォームは、相手チームのユニフォームの色と判別できるフィールドプレイヤー副(サブ)のユニフォーム(自身の番号)で出場するか、退場されたGKのユニフォームを用いて、その背番号を出場する選手の背番号と審判員が読み替えて続行終結させる。
この場合、試合の結果は、ユニフォーム不備での終結続行であり、本来不備のチームは規定違反であるので、スコアに関わらず棄権扱いとする。

- ⑦ ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。但し、ユニフォーム広告表示により会場等への広告掲出料の経費は当該チームにて負担することとする。**※広告の承認済の書面を当日MCM時に提示すること**
- ⑧ シューズ、体育館シューズ（底が白または飴色）、靴底は接地面が飴色または白色のものとするが、シューズ自体に「ノンマーキング」表示があるものについては靴底面が黒色を含まないものであれば使用可能とする。
- フットサルシューズで、スパイクおよびイボイボ状のトレーニングシューズは不可（ベンチ入りの役員も同様とする）
- ⑨ 試合中、練習中を問わず場内外の器物破損が発生した場合は、当該チームにおいて弁済するものとする。
- 特定できない場合は、出場全チームで責任を負うこと。
- 場内外の負傷発生の際は、当該チームにおいて行い、協会は一切の責任を負わない
- ⑩ **当該チームの試合開始前に両チーム代表者、審判員、マッチによるマッチコーディネーションミーティングを行う。**
- 時間は、タイムスケジュールに記載の時間に、ユニフォーム（正・副）（ビブス）、メンバー表、選手証を持参して、試合当日受付で指示される場所で行う（時間厳守）**
- 選手がユニフォームを着用して来ることは厳禁。**
- また、必ず代表者が出席すること。**
- ⑪ 選手証などの未提出で、試合が一方のチームの責に帰すべき理由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームの記録は抹消する。
- 選手証未提出とは、当該試合のKOされる時間までとする。
- ⑫ 会場の試合前のボールを使用したアップスペースはありませんので、体育館周辺及び体育館空きスペースでのボール使用はしないでください。
- また、体育館外の周辺でアップをする場合は、必ず靴の履き替えをしてください。
- ⑬ 各会場、ピッチ以外でボールを蹴るスペースはありませんのでボールは持ってこないこと。（練習用ボールは協会では準備いたしません）
- ⑭ ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以降の変更は認められない。
- ⑮ ビブス：交代要員は競技者のシャツと異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。